

日本古生物学

北村晃寿¹・真鍋 真²

¹本会評議員，静岡大学理学部・防災総合センター

²本会評議員，国立科学博物館

被災博物館等レスキュー

・2011年10月4日～7日の岩手県陸前高田市立博物館の第2次救済事業などを協力支援

・3,283点の地質・化石標本の洗浄，除菌と乾燥，ラベルデータの復旧・復元し，台帳および電子データベース再構築作業を行った。

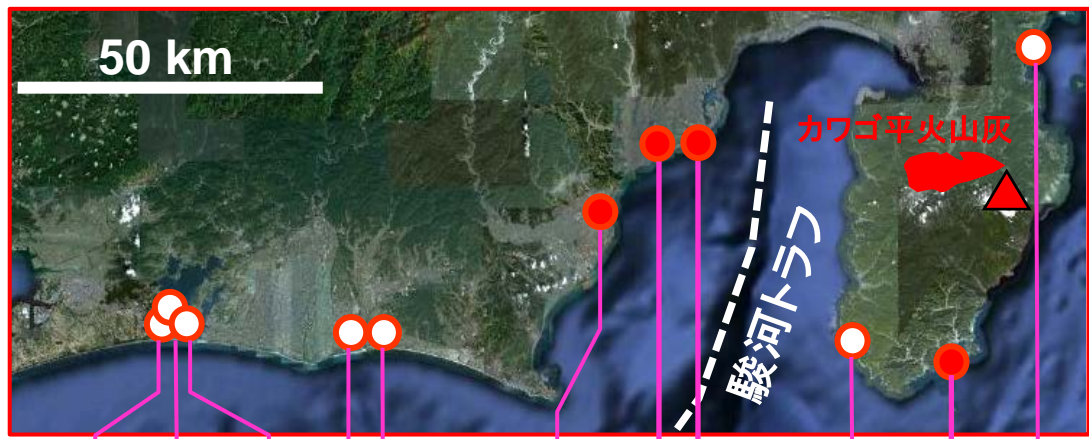
・本学会報文誌「化石」93巻に掲載「特集：東日本大震災における標本レスキュー活動」

http://www.palaeo-soc-japan.jp/download/Kaseki/Kaseki_online/No93.htm

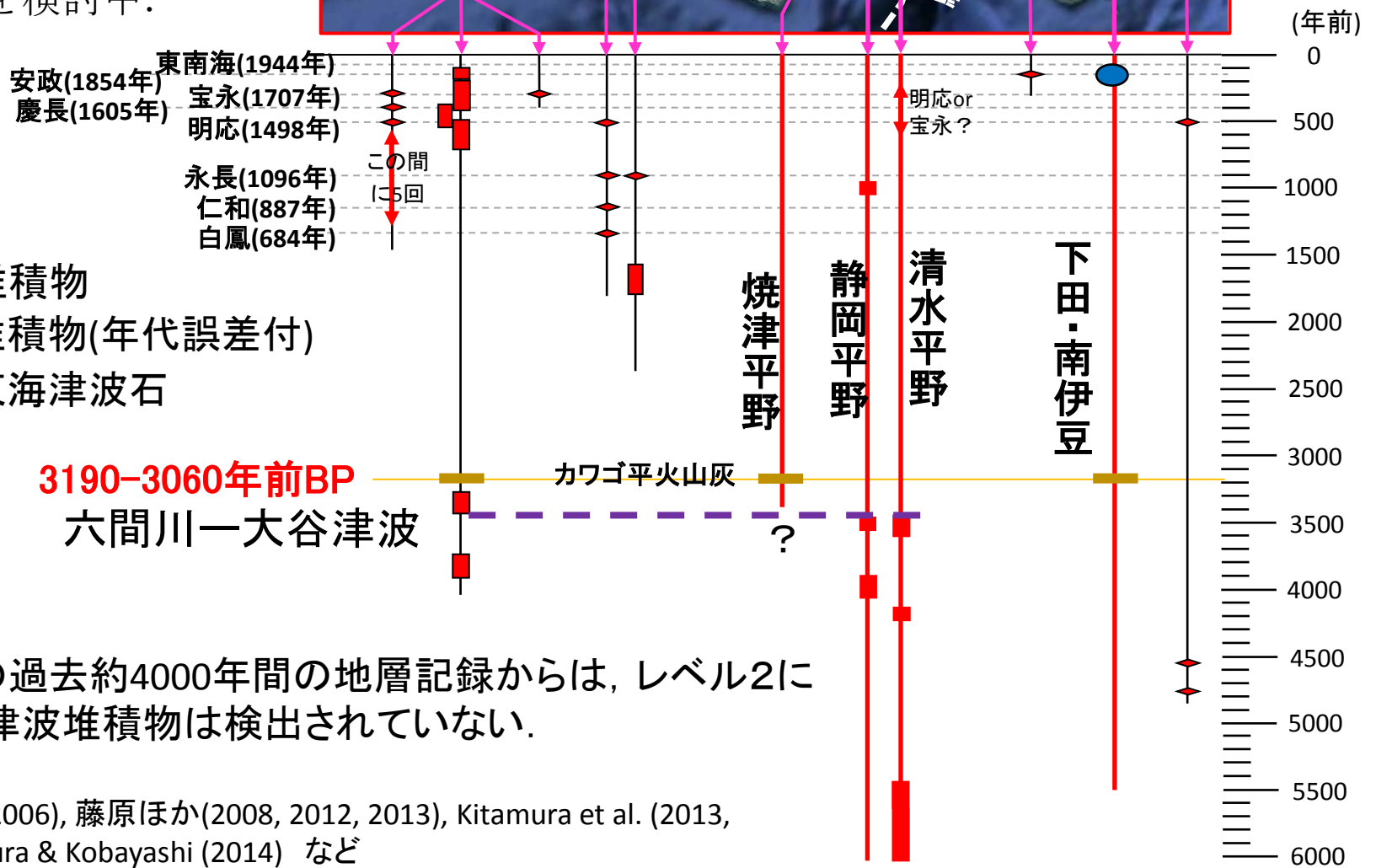
・福島県広野町役場で破損した恐竜標本のレプリカを，アメリカ古脊椎動物学会からの寄付金と本会の予算を用いて，修復予定



複数の会員が，駿河トラフ・南海トラフ沿岸低地において津波堆積物の調査を実施し，「あらゆる可能性を考慮した最大クラス(レベル2)の地震と津波」の発生の有無を検討中。



● 北村・共同研究者



- ◆ 津波堆積物
- 津波堆積物(年代誤差付)
- 安政東海津波石

・静岡県の過去約4000年間の地層記録からは，レベル2に相当する津波堆積物は検出されていない。

小松原ほか(2006), 藤原ほか(2008, 2012, 2013), Kitamura et al. (2013, 2014), Kitamura & Kobayashi (2014) など